

注意：本ページの内容は、平成15年度総務省補助金交付時のものであり、現状と異なる場合があります。

事業の概要

中標津町役場に「中標津町地域情報センター」を整備し、保健センターや図書館、学校等を光ファイバ等でネットワーク化することにより、総合行政システムや図書蔵書検索システム等を構築し、住民サービスの向上を図る。

- 整備期間 平成15年度
- 総事業費 約149,000,000円
- 補助金額 約49,000,000円
- 主な伝送路 光ファイバ（自営100Mbps）、無線11Mbps
- 接続箇所 18箇所（うち学校接続5箇所）

主なアプリケーション

(1) 総合行政情報システム

HPを活用したお知らせや、各種（生活、保健、福祉、生涯学習等）行政情報のリアルタイム発信を進め、電子メールによる行政相談、まちづくりに関する意見聴取を行います。また、申請届出等に必要な書式のダウンロードサービスを実施します。

来訪者の多い文化会館には、スキャナー機能を付随した住民用公共端末（KIOSK端末）を設置することで、施設を訪れた住民が気軽に公開情報を引き出すだけでなく、住民側からの入力を可能とし、住民参加型のまちづくりの仕組みを促進します。

少子化対策として、子育てに悩む母親のための支援サイトを立ち上げ、情報提供や悩み相談等を行い、保育所及び児童会館にて閲覧可能な仕組みを作ります。

(2) 図書蔵書検索システム

中標津町図書館の蔵書や貸し出し状況がインターネットを通じて、家庭のパソコンや住民用公共端末（KIOSK端末）から確認することが出来ます。

(3) 公共施設情報システム

総合文化会館の会議室等の公共施設予約状況の確認や予約申請が、家庭のパソコンや住民用公共端末（KIOSK端末）から可能な仕組みを構築します。

(4) 観光情報提供システム

中標津町役場屋上に設置したライブカメラによる映像配信、配信映像データ変換装置による観光ビデオの配信、町の観光イベント情報の提供、地場製品のPR情報の提供を進めます。

イメージ図

